

特定非営利活動法人 ScholAgora

ー多様性を包摂した、公平で持続的な学術コミュニケーションを目指してー

永井裕子¹⁾, 尾城孝一¹⁾

¹⁾ 特定非営利活動法人 ScholAgora

ScholAgora は、学術コミュニケーションに関わる様々な立場の方々が協働し、その発展を目指すための非営利組織です。議論や対話、発表の場を提供し、現在の課題や認識についての共有をはかることを目的としています¹⁾。

ScholAgora の前身は UniBio Press といい、20 年に亘り、米国 BioOne と連携して国内生物系学会誌の出版を支援し、国内外大学図書館を中心に購読を進める活動を行ってきました。なお 2026 年からは BioOne の決断により、S2O モデルで出版事業を展開しています。この事業は現在も継続し、収入の柱となっていますが、ScholAgora への発展は、出版のみならずより広いステークホルダー、すなわち研究者・学協会・図書館・URA・関連企業等との協働を意味します。包摂的なコミュニケーションの場を重要と考え、個人を中心とした会員制となりました。学術コミュニケーションに関心がおありの方ならどなたでも、1 日約 10 円の費用で会員となり活動に参画することができます。

現在、主な活動として月 1 回程度の ScholAgora セミナーを展開しています。講演者の課題意識や取組を中心に、学術情報の質保証、様々な発信プラットフォーム、海外動向、学術コミュニケーションの歴史などを取り上げています。なお前身となる UniBio Press セミナー資料も ScholAgora のウェブサイトでご覧になれます²⁾。

また、会員による発信やワークショップの実施、ディスカッションを深める企画も検討中です。ScholAgora の事業及び活動、直近のセミナー等についてのご案内をブースにて差し上げております。学術コミュニケーションにかかる対話を始めるために、ぜひ足をお運びください。お目にかかれることを楽しみにしております。

¹⁾ ScholAgora とは何か, 特定非営利活動法人 ScholAgora ウェブサイト, <https://scholagora.smoosy.atlas.jp/ja/history> (accessed 2026-05-28).

²⁾ 過去のイベント(UniBio Press), 特定非営利活動法人 ScholAgora ウェブサイト, <https://scholagora.smoosy.atlas.jp/ja/event-unibiopress> (accessed 2026-05-28).